

6-3 行動計画

(1/2)

取組		年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	長期目標※
河川整備の更なる推進	護岸や調節池の着実な整備推進			・和田堀公園調節池稼働	・野川大沢調節池稼働			環状七号線地下広域調節池稼働 境川金森調節池稼働(2025)等 下高井戸調節池稼働(2024)	※ (河川) 区部では時間75ミ、 多摩部では時間65ミの降雨に対し、 河川からの溢水を防止
	新たな調節池の事業化検討			・石神井川、境川で新規調節池を事業化	調整が進んだものから順次事業化				
下水道整備の更なる推進	施設の暫定稼働による事業効果早期発現等			・渋谷東口地区取水開始 ・杉並区荻窪地区取水開始	・練馬区田柄地区、 桜川地区取水開始 等				※ (下水道) 下水道:時間50ミ降雨対策を進めるとともに、対策強化地区で最大時間75ミ降雨対策を実施
	下水道幹線等の新規事業化検討			・大田区大森西地区新規事業化	調整が進んだものから順次事業化				
	河川管理者と連携した下水道の取組			・下水道から河川への雨水放流量を段階的に拡大					
流域対策の促進・見える化				・実績値、目標値公表 ・補助要件緩和	・進捗状況の見える化、流域対策における補助対象施設の緩和等				※ (流域対策) 時間10ミ降雨相当の雨水流出抑制を実施
ソフト対策の推進	平常時における水害リスクの都民理解			・想定最大規模降雨による浸水予想区域図の改定					
	豪雨時における都民の速やかな避難行動			・東京メツ1の多言語化	・雨雲と水位情報の重ね合わせ表示 ・水防情報のオープンデータ化				
	下水道事業への理解と協力を得る取組を推進			・「東京下水道見せる化アクションプラン2018」に基づく東京下水道の「見せる化」を推進					

これまでの取組の着実な推進と加速

取組	年度	2019	2020	2021	2022	2023	2024	長期目標※
		これまでの取組の 着実な推進と加速	業界団体との連携によるPR強化		・住宅メーカーホームページへの流域対策事業の掲載 ・住宅展示場等での雨水流出抑制施設のチラシの配布			
ソフト対策の推進			・庁内施設の改築更新等の機会に実施					→
大規模地下街における浸水対策の推進	・避難経路、雨水流入箇所の把握・整理 ・情報伝達訓練の実施							→
新たな取組による強化	対策を強化するエリアの拡大を検討	・対策強化流域の検討・選定（河川） ・75ミリ対策強化地区等の検討・選定（下水道）	・河川整備計画の改定、整備推進 等					→
	流域対策モデル事業	・モデル地区選定	・検証開始					→
令和元年台風19号を踏まえた対応	河川施設における緊急の取組	・災害復旧工事 ・現況調査 ・早期安全性向上策の検討 ・監視カメラ等設置拡大	・局所改良等実施					→
	下水道施設における緊急の取組	・操作員の転落事故防止等の対策や堤内地からの樋門操作等を順次検討し、可能なものは2020年出水期までに実施 ・樋門等に関わる情報発信及びPRを強化						→

※
（河川）
区部では時間75ミリ、多摩部では時間65ミリの降雨に対し、河川からの溢水を防止

※
（下水道）
下水道：時間50ミリ降雨対策を進めるとともに、対策強化地区で最大時間75ミリ降雨対策を実施

※
（流域対策）
時間10ミリ降雨相当の雨水流出抑制を実施

（注）スケジュールは、整備状況や豪雨の発生状況などを踏まえ、必要に応じて適宜見直していく。